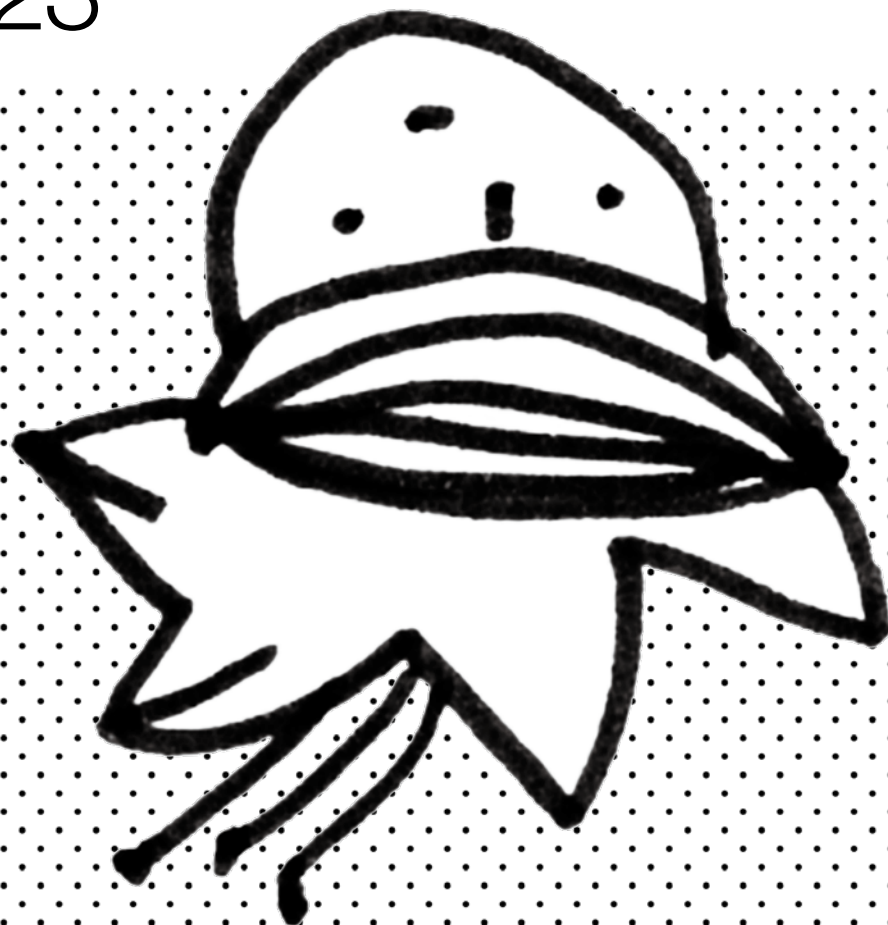


SINCE 2005

Vol.218
monthly issue

文化通信

June 2023



特集 Jazz

**多様性に富んだ
文化的体験を共有したい。**

Meijiza Jazz 2023



▲今岡友美&ディアブルース

治座に何度かお越しになっていて、その時のライブを見た加子母の方にはお馴染みのグループかもしれません。きつと今回も楽しませてくれるはずですよ。

メインアクトの『今岡友美&ディアブルース』は、もちろん加子母初お目見えで私の一押しバンドです。もともとジャズが大好きな私は、名古屋に住んでいた頃から栄にあるジャズの老舗ライブハウス「ジャズ・イン・ラブリ」で彼らの演奏に酔いしれていました。今岡さんの小柄な身体からは想像できない圧倒的で力強いヴォーカル

に打ちのめされ、それを支えるピアノ・トリオ『ディアブルース』の高度なテクニクに裏打ちされたご機嫌にスイングする演奏に心踊らされました。彼等の演奏するジャズはほんとと上手くて圧巻なんです。とにかくこのバンドの素晴らしさを知っていただきたい、加子母の皆さんにぜひ聴いていただきたい、今回のライブは、そんな思いで企画したようなものです。

先月、打ち合わせを兼ねて彼らのライブ会場に足を運んだのですが、普段、全国を飛び回っている彼らも、初めての「かしも明治座」での演奏を楽しみにしているようでした。また今回のライブ用によく知られた著名なポップスや、シティポップの名曲を演目に入れてくれるようなので、私も今から楽しみにしているんです。



▲ちんどん通信社



来たる六月三日(土)に、明治座で開催されることが決まったジャズ・ライブ。クラシックに続き開催される音楽イベント、それも加子母では珍しいジャズのライブということで、このライブを企画・主催する田口昭人さんにお話しを聞かせてもらいました。

多様性に富んだ 文化的体験を共有したい。 明治座のジャズライブに込めた思い

そもそもこのライブを開催するきっかけは？

以前から「明治座で何かやりたい」と漠然と考えてはいたんです。実をいうと明治座でジャズを演奏するイベントは、十数年前に行われた事があって実は今回が初めてではないんです。でも、それからずいぶん歳月が経過してしまっていて、それに加えてこの数年はコロナ禍でライブをできるような状況でもなかった。しかし、ようやくマスクの着用も任意になって、インバウンドも回復し、国内の様々な場所でも人が集まり声を出せるイベントが解禁になった今、巣ごもり状態だった加子母を活性化させるチャンスかな」と。

ジャズにした理由は？

明治座といえばやはり本来の目的である歌舞伎と恒例となったクラシック・コンサートなんだろうけれど、どうしてもかまって鑑賞する高尚なイメージがありますよね。歌舞伎はもともと大衆演芸ですからそうでもないんですけど、クラシックの場合はヒソヒソ話は無論、咳やくしゃみも我慢したりと何かと堅苦しい。その点、ジャズはお酒のグラスのカチャカチャ音や会場のザワザワした騒音がむしろ絵になる。ライブを聴きに来てくれる、まさに主役であるお客さんに何よりリラックスして気軽に時を過ごしてもらえたらというのがひとつ。

もうひとつはジャズ自体が自由度の高い演奏スタイルを持った音楽って事ですね。つまり演奏する方も聴く方も肩の力を抜いて心から楽しめる。ジャズにした理由はそこです。それと、クラシックだけが音楽じゃないし、いつもそればかりじゃつまらないですし、多様な音楽を「生」で聴く機会を提供する事で、聴きに来てくれる方達とその時間と空間を一緒に共有し楽しみたいという、私自身の想いもあります。

出演者について簡単に紹介いただけますか？

そうですね、まずオープニング・アクトを務める『ちんどん通信社』さんはその名の通り、ベースはちんどん屋さん。といっても多彩でフレキシブルな演奏集団であり、確信的な音曲漫談エントナーとしても知られていません。ジャズの本場アメリカのニューオーリンズや、シカゴでも演奏されています。以前、梅田君の招聘で明

主催の「シティ・ポップ・クリティック」についても教えてくださいませんか？

そうですね(笑) 言い出しっぺが私なので私が代表ってことになってますけど。三年前の2020年の7月号の『かしも通信』で一度記事として取り上げられたかと思えます。私と梅田吉久君(角領区在住)と可知利文君(小和知区在住)の三人で現在、世界中で騒がれている日本の70年代・80年代の洒落た音楽、いわゆるシティ・ポップを各自が論評した分厚い冊子があるんですが『シティ・ポップ・クリティック』はその冊子の名前です。ちょうどコロナが流行りだして在宅を余儀なくされた時期に、何か自分たちでできることはないかと考えたのがそもそもの始まりでした。実は編集自体はまだ続いていて、ようやく90年代の後半あたりまで来ました。まあ、ライブワークみたいになりつつあります。(笑) ある意味、今回のジャズライブはポピュラー音楽を聴くという観点でいえばシティ・ポップ・クリティックの活動の延長線上にあるものかもしれません。

わざわざ名古屋や東京のライブハウスに出かけなくても、仕事終わりに即行ける明治座で「本物」のジャズを楽しめる絶好の機会です。是非とも多くの皆さんに聴いていただけたらと切に願っています。



お話しを伺っているうちに、今回のライブにかける田口さんの並々ならぬ熱意が伝わってきました。静かな話ぶりながらも、特に今岡友美&ディアブルースを語る時の熱量に圧倒されました。ライブが成功したら、ライブが成功したら、これを機に願わくば恒例になればいいですね。(インタビュー・知佳)

わが家のPet!

万賀 熊沢エルくん 6才
#33

ボクは散歩が大好き!15時の音楽が鳴るとリードが置いてある方をジーッと見つめて、ご主人を呼んで散歩に連れて行ってもらうんだ。人が大好きで知った人が来ると嬉しくて、後ろ足で立って前足で手招きするのは歓迎の印なんだ。特にご近所のおばさんに体をマッサージしてもらるのが大好きなんだ。



わたしもかしもvol.81
すさき 出

食べたのには

ぬむる前には

はらがへる

よんごんに



佐野智哉の キヅキノート



家の窓を交換しました。

夏は西日の暑さが、冬は寒さや結露が軽減されるはずですが、どれぐらい効果があるのか冬が来るのが楽しみでもあります。

実際に交換してみると、音も静かになり驚きました。少しの雨だと降っていても分からなくなりました。カエルの声は変わらず聞こえてきますが。

また外の眺めも良く見えるようになり、窓の周辺について更に考えてしまいます。今まで内障子でしたが、カーテンにするか、ブラインドにするか、窓の外には濡れ縁をつくらうか、鳥小屋もあってもいいかもしれない。照明や家具の配置も変えようか、そうして手を加えているうちに更にその周辺へと意識が移っていきます。

部屋全体がイメージ通りにならなかったり、雰囲気が良くなったり、実際に設置してみないとなかなか分からないものです。

子供の成長に合わせて必要なモノも変わりますし、一筋縄には行きませんが、工夫しながら暮らすのは楽しみの一つかもしれません。

かしも通信文芸

俳句 炎天の影定まりし大樹かな

梅田 冷宵

俳諧正調 浴衣二重で肌にもふれず 義理に結んだ夏の帯

細川 茶骨

俳諧正調 訪へば返事も井戸端あたり 声があわてたたらい風呂

佐藤 狂波



コウノトリ

	2022年度		2023年度	
	男	女	男	女
4月	0	1	0	0
5月	1	0	0	0
6月	1	0		
7月	0	0		
8月	1	0		
9月	0	0		
10月	2	0		
11月	0	0		
12月	0	0		
1月	2	0		
2月	1	0		
3月	0	0		
計	8	1	0	0

(令和5年5月17日現在)

70の牛飼

～牛のエサの守護神～

飛騨牛の牛舎へ行くと、まず目に付くのが猫だ。雨の日も風の日も牛舎の前で、なん匹かが門番をしている。実はこの猫、私が近づいても振り向きもしない。ところが、牛舎の持ち主が来ると、その軽トラが到着するかしないかのうちに、甘えた声を出しながら近寄って行く。

この猫は、牛舎で大切な役割を果たしている。ネズミの駆除だ。300頭近い飛騨牛の飼料のおこぼれやらを狙って、ネズミが集まり繁殖する。それを十数匹の猫が追い払ってしまう。

牛舎の前でじっと座っている猫の姿は、大切なものを守っているという格好だ。

ふと思ったのは、大切なピラミッドを守っているスフィンクスの姿にそっくりに見える。スフィンクスとの違いは、同じ守護神でも、エサをくれる飼主だけにだけ寄り添っていき、生きた動物だということだ。

憎らしいけれども、身近な守護神だ。 中切 治

編集後記
編集長/秦雅文

去年は腰痛や坐骨神経痛などでマラソンをまともに走れなかったので、今年はサブ4できるくらいには戻そうと思い、いろいろと動画を見て走り方を研究し、スピード走を取り入れたりして練習してみると、直前の練習で10キロを46分で走れた。そこで長野マラソン当日は急遽目標をあげて3時間30分を目指した。でもそれがそもそも失敗だった。20キロまではキロ5分ペースを守っていたものの少しずつペースが落ちて30キロ過ぎると足が止まって歩いてしまった。結果的に目標タイムにはほど遠いどころかサブ4さえできなかったのはショックだった。マラソンは頑張るはいけない。走り込まないとタイムは狙えない。何より大事なのは最後まで諦めないこと。

でもマラソンは年齢に関係なくしっかり練習すればタイムはのびる。今回も87歳の方が4時間10分で完走されていました。しかもこの方は60歳から始めたそうです。87歳でこれだけ走れる身体があれば人生楽しいだろう。僕もまだまだ行ける気がする。同年代でサブ3を達成している友人を目標に頑張るのが最近の一番の楽しみだ。

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。



えんどうのソース炒め

母はえんどうをソースで炒め、弁当によく入れてくれた。冷めても美味しい。えんどうのソース炒めの話をすると、皆さんから「へー!?!」と言われるので、今回紹介します。5月は緑野菜がない時にえんどうが一杯採れるので嬉しい。醤油で炒めると茶色になりクタクタになる。ソースだと緑鮮やかで美味しい。料理の本見てもえんどうが主役のレシピがない。農家だからえんどうが主役になりますね。母は11月3日文化の日にえんどうを蒔くといいて加子母までわざわざ蒔きに来てくれました。



材料

えんどう
ウスターソース

作り方

油でえんどうを炒め、ウスターソースで炒める。



絵手紙：加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの
こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブプロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信
2023年5月25日発行 No.218

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



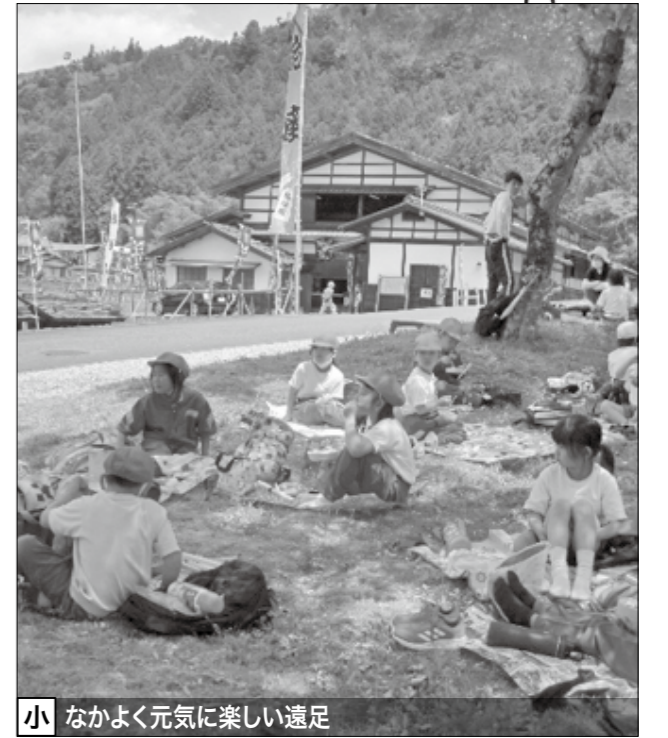
かしもっ子だよ全員集合!



中 歴史や願いを知ったペゴニア引渡式



こ 白熱!親子でドッチボール対決!



小 なかよく元気に楽しい遠足

中 学校 ▶ 4月28日(金曜日)早朝より、加子母地区10区の新区長さんと「かしも花づくり会議 花のアドバイザー」の熊崎勝彦さんをお迎えし「ペゴニア引渡し式」を行いました。

今年度はペゴニアの生育が遅く、苗の大きさは例年と比べるとかなり小ぶりです。中学校で預かる期間は短いものですが、おいでいただいた各区の区長さんに無事、引き渡すことができました。

区長さんへの引き渡しの前に勝彦さんから、加子母の花づくりの経緯や難しさ、6月4日(日曜日)に行われる加子母環境デー(花植え)の時には交通安全に気を付けて欲しいという強い願いをお話していただきました。

加子母環境デーの参加を通して、色々な世代の方々と交流し、いつもとは違った角度で自分の良さを見つけたり、社会の役に立てたという充実感を持てたりできると素敵なことだと思います。長い間、加子母のみんなで育ててきたこの文化を守っていききたいと感じる引き渡し式でした。

小 学校 ▶ 5月12日(金)に、低学年、中学年の遠足を行いました。

1・2年生は明治座へ行きました。加子母川沿いの新緑の中を元気いっぱい歩きました。途中で、恐竜の足跡の形をした葉を見付けることができました。明治座の見学、遊び、近くの牛舎の見学と、内容いっぱい楽しい遠足となりました。3・4年生は乙女溪谷へ行きました。小郷の途中まではバスで

行き、往復8kmを歩きました。オリエンテーリングをしたり、みんなでじゃんけん列車などの遊びをしたりして、仲間同士の関係が今まで以上に深まりました。

がんばって歩いたあのお弁当を、どの子も嬉しそうに食べていました。友達と一緒に外で食べることができ、よりおいしく感じたことでしょう。素敵な一日となりました。

こ ども園 ▶ 行動制限がない3年ぶりのGW。こども園の子ども達やそのご家庭でも出かけられた方も多かったようです。5月になり新入園児も少しずつ園の生活に慣れてきました。笑顔で過ごす時間も増え、天気の良い日は散歩に出かけ草花や生き物に興味津々の様子です。これから暑い日も増えてきますので、体調に気を付けながら活動に取り組んでいきたいと思います。

5月13日(土)には今年度初めての参観を行いました。この日はお家の人と一緒に嬉しそうなお子たちでした。年長児は親子でドッチボール対決をしました。この日の為に練習を重ねていたため、当日もとても盛り上がりました。試合終了後には見ていた他のクラスの方々より温かい拍手をいただき、親子ともとても楽しめた様子が伝わってきました。

また、保護者会総会も行い、1年の始まりを皆さん揃ってスタートすることができました。

乳 幼児 ▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんば感染症拡大防止対応の「くるりんば開放日」を設けています。



6月の行事予定

1	木	人権相談(13~) 【小学校】6年生修学旅行1日目 【中学校】3年生修学旅行3日目
2	金	【こども園】身体測定 【小学校】6年生修学旅行2日目 【中学校】市教研
3	土	
4	日	加子母環境デー(ペゴニア花植え)
5	月	【こども園】節句会 【小学校】家庭学習がんばり週間(~9日)
6	火	
7	水	
8	木	2歳児個別相談(付知会場) ↑ 受付時間は個別で案内します 【こども園】おにぎりの日
9	金	【こども園】避難訓練 【中学校】前期中間テスト
10	土	【こども園】保護者会環境整備作業
11	日	大型・有害ごみ(9~13)
12	月	【中学校】教育実習開始
13	火	行政相談(13:30~) 【中学校】防災出前講座(VR)
14	水	【こども園】歯科検診 【こども園】懇談会 【小学校】4年生あおぞら教室(四ツ目川遊砂工)
15	木	
16	金	【こども園】交通安全教室
17	土	
18	日	不燃・硬質・資源ごみ(17~18)
19	月	
20	火	【こども園】かしもっこ広場
21	水	1歳6か月児健診(午後~福岡会場)
22	木	農事改良組合長会(19:30~) 【こども園】耳鼻科検診(年中組) 【中学校】耳鼻科検診
23	金	区長会(14:30~)
24	土	【こども園】老人クラブ奉仕作業
25	日	【中学校】中体連市大会(剣道・卓球・バレー・バスケット)
26	月	3か月児健診(午後~福岡会場)
27	火	
28	水	
29	木	集団がん検診・特定健診(加子母公民館) ↑ 事前に予約が必要です
30	金	【こども園】年長お楽しみ会 【中学校】教育実習最終日

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

高校生バス通学補助制度補助金

中津川市では、高校生のバス通学への補助金制度を実施しています。令和5年度の申請を受け付けていますので手続きがお済みでない方は、お早めにお申し込みください。

◆対象:高校へのバス通学定期券(現金・回数券等は不可)

◆申込期限:令和6年3月15日(金)

◆詳しくは、中津川市役所定住推進課、加子母総合事務所へお問い合わせください。

猫の不妊去勢手術支援事業補助金

動物と人にやさしい中津川市を目指して、猫の不妊去勢手術費用の一部を補助しています。猫の多頭飼育や糞尿により近隣へ悪影響を及ぼしたり、飼い主不明の猫(いわゆる野良猫)については、飼っていただける方が見つからず、殺処分されることもあります。そういった猫を減らすためにも繁殖を抑制することにより、周囲への危害や迷惑の防止を図り、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向け、市内の猫への不妊去勢手術に対して補助を行うものです。

◆補助額 メス:6,000円/頭 オス:4,000円/頭

※手術費が補助額を下回る場合は、補助額は手術費の額となります。

◆詳しくは、中津川市役所政策推進課、加子母総合事務所へお問い合わせください。

図書室だより

【6月おすすめ図書】

■教誨 (著 袖月裕子)

吉沢香純と母の静江は、遠縁の死刑囚三原響子から身柄引受人に指名され遺骨と遺品を受け取った。響子は10年前、我が子も含む女兒2人を殺めたとされた。香純は、響子の遺骨を三原家の墓におさめてもらうため、菩提寺がある青森県相野町を単身訪れる。

■セイロン亭の謎(著 平岩弓枝)

神戸・元町の人気紅茶店「セイロン亭」のオーナー一族が住む、山の手に建つ英国風の豪壮な洋館で、女社長が何者かに殺された。中国語のメッセージの謎と、複雑に入り組んだ人間関係、背景に横たわる茶の輸出入の歴史的事実が交錯する。異人館ミステリー。

■宇宙を解くパズル 「真理」は直観に反している(著 カムラン・バッファ)

「宇宙はどうなっているのだろうか?」。この素朴な問いにとりつかれた人類が宇宙の謎を解明してきた結果わかったのは、宇宙はあまりにも人類の直観に反しているということだった。宇宙をどう理解すればいいのか?楽しく悩みながら、物理学の「真髄」に迫る本。

■90枚のイラストで世界がわかるはじめての地政学(著 いつかやる社長)

企画が出なくなった招き猫たちに、紅子は過去の思い出を語り始める。紅子はそのむかし、行商スタイルで、ひとり駄菓子を売っていた。戦国時代からバブル期、墨丸との出会い、銭天堂開店の瞬間などの出来事が明かされる。シリーズ第18巻。

■二番目の悪者(作 林木林 絵 庄野ナホコ)

金色のたてがみを持つ金ライオンは、一国の王になりたかった。自分こそが王にふさわしいと思っていた。ところが、街はずれに住む優しい銀のライオンが「次の王様候補」と噂に聞く。ある日、金のライオンはとんでもないことを始めた…。



加子母の人口と世帯数(令和5年5月1日現在) 世帯数:952世帯 男:1,208人 女:1,259人 計:2,467人